

グループホーム サンテラス

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/> 1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
<input type="checkbox"/> 2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
<input type="checkbox"/> 3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
<input type="checkbox"/> 5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	管理者と隣近所との交流の機会を増やす。

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を活用し、地域の方に高齢者施設や後期高齢者制度などについて学習の機会を作り、暮らしに役立てるように取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価を行い、外部評価の結果についてはミーティングで改善に向けて話し合っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、外部評価の結果を報告し、今後の改善や取り組みについて話し合いを行っている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者に来て頂いて、講義を行ってもらうなど連携を図っているまた、区役所や包括支援センターにパンフレットや施設便りを持参し、交流を図っている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護について研修会に参加している。また、1階の受付にパンフレットを設置し、必要時にはすぐに提示できるようにしている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待について研修会に参加し、職員の認識を高めるようにしている。管理者補助や介護リーダーは日頃から利用者や職員の様子に注意を払い虐待の早期発見に努めている。		管理者と隣近所との交流の機会を増やす。スタッフが一体となり虐待防止に努める。

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、説明を丁寧に行うようにしている。特に利用料や看取りについては詳しく説明を行っている。利用者や家族には不安や質問が無いが、必ず伺うようにしている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>お茶やおやつの時間を利用して、利用者の意見交換を行っている。必要に応じ職員や管理者補助が個別に部屋を訪問し、意見を伺い対応している。また運営推進会議に利用者にも参加してもらい、意見をさくようにしている。</p>		<p>管理者と家族の意見交換の機会を作る。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時には生活の状況や身体状況について報告している。金銭管理については必要に応じて、その都度利用状況を報告し出納帳にサインを頂いている。身体状況に変化が見られた際には、すぐに御家族に報告を行っている。月1回施設便りを御家族に配布し写真などを見て頂いている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時は、話しやすい雰囲気作りに努め、意見や要望が無いか問いかけを行っている。家族会を行い、意見交換を行っている。また、意見箱を設置している。</p>		<p>できる限り、管理者も家族会に参加する。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の実績報告会で意見を聞いている。</p>	○	<p>管理者は施設に訪問する機会を作り、スタッフと接する機会を作る。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じて必要な人員が確保できるように早出、遅出を取り入れてローテーションを組んでいる。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各ユニットの職員を固定化し、馴染みの職員が対応できるようにし、受け持ち制としている。職員の離職の際には、利用者・家族に説明を行い、次の受け持ちとなる職員に引継ぎを行っている。</p>		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の採用にあたって性別や年齢を理由に採用対象から排除する事はない。</p>		<p>妊娠中、または産休中や育休中の職員に対する、勤務体制や、グループホームで働き続ける事の出来る環境作りを明確にしていく必要がある。</p>
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>外部への研修に参加し、共通理解できるよう取り組んでいる。</p>		<p>管理者もスタッフと一体となり取り組みを行う。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修や勉強会への職員の参加希望を募り多くの職員が参加できるようにしている。</p>		<p>管理者と共に職員の教育に取り組む。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の他事業所と互いに見学会を行い意見交換を行って交流を図る予定としていたが、新型インフルエンザ流行の為、中止となる。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>介護リーダーや管理者補助は、日頃からから職員との関係作りを大切にし悩み不安に耳を傾けている。また、きちんと休憩時間が取れるようにし、気分転換できるよう配慮している。</p>		<p>管理者とスタッフが直接話をできる機会を普段から作る。</p>

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	介護リーダーや管理者補助は職員の健康状態や業務を把握し、目標を持って働けるよう努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用前に本人との面談を行い不安な事や求めている事を把握し、話しやすい雰囲気を作り、ご本人に受け入れて頂けるように努めている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用前に、御家族と面談を行い不安な事や求めている事を把握し、これまでの経緯をじっくり伺い、どのような対応が出来るか話し合い信頼関係作りに努めている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と御家族の、意向を確認し医師や居宅介護支援事業所のケアマネージャーと連携を取りながら必要なサービスが提供できるよう努めている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	できるだけご本人と御家族に見学して頂き、職員や他利用者の雰囲気に触れて頂いて安心して利用して頂けるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、些細な事でも声掛けを行い、人生の先輩として敬意意見を伺い、生活の技や文化を教えて頂くことも多く、また利用者の思いを共感し支えあいながら生活できるよう努めている。		

グループホーム サンテラス

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の心身の状態や日常生活状況など家族に密に連絡しケアについても自宅での様子を伺ったり家族の思いに耳を傾けながら話している。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事の際にはご家族を誘い、一緒に過ごす時間を作り、利用者やご家族の状況を見ながら外出や外泊を勧めている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的なお墓参りや、法事などに出かけられたり、ご友人が面会にいらっしゃるなど繋がりを継続できるよう支援している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事やお茶の時間には職員も一緒に過ごし、利用者同士の人間関係を把握し、コミュニケーションの仲介を行い調整役となり、関係が円滑となるよう支援している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も行事へのお誘いを行い、御家族もボランティアとして行事に参加して頂く事もあり、継続的な関わりを大切にしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃のコミュニケーションの中で、思いや、希望の把握に努めている。介護計画の見直しの際に、必ず、利用者、家族双方に意向、要望を聞いて、できるだけ望む状況に応える事が出来るように心がけている。		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の面談で、利用者や家族から情報を収集すると共に、普段の利用者、家族との会話の中からも情報を得て、面談記録や介護記録センター方式暮らしの情報に記録を残す事で職員間の情報を共有している。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々のニーズや、生活にリズムを受容するように努め、毎朝行うバイタル測定や心身の状態、言動を日々の記録などから把握している。また、日々のコミュニケーションや申し送り、カンファレス、、ミーティングなどで総合的に把握できるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画前、家族の面会時や電話で意向を伺っており、本人にも意向、希望を聞いている。定期的にカンファレスを開催し、本人、家族からの意向を取り入れ作成している。また事前に主治医からも留意点やアドバイスを伺い計画に取り入れている。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月受け持ちの担当者とケアマネージャーが評価を行い3ヶ月に1回カンファレンスを開き見直しを行っている。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は利用者の言動や、どのように接しケアを行ったのか解りやすく記入し、食事量や排泄状況なども確認できるようにし情報の共有に努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診の際に家族の付き添いが困難な場合、職員が付き添い身体状況を報告し医師や看護師と連携し利用者が入院することなくグループホームでの生活を継続できるよう支援している。		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会長、民生委員、老人会会長の方々とも意見交換やボランティアへの協力を呼び掛けている。民生委員と共に、地域の児童生徒の訪問がある。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者や家族の希望にて訪問理美容を利用して頂いている。また居宅介護支援事業所や病院のケアマネジャーと連携を図っている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの担当者に参加して頂き意見交換を行う事により、協力体制を築いている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望により、係りつけ医があり、受診には家族も付き添っている。また、必要に応じ職員も付き添ったり、往診に来てもらったり、適切な医療を受けられるように複数の医療機関と連携し支援している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	同法人内や協力病院の医師に相談したり受診を行い、指導、助言を受けて支援している。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しており、利用者の受診の付き添いや健康管理を行い、身体状態を把握している。		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	入院時には、利用者の情報を提供して頻繁に見舞いし、早期退院に向け医師や病院関係者と連携している。		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	家族やかかりつけ医・看護師・職員を交えた上で、話し合いを行い、本人や家族の意向を確認しながら状況の変化に応じて対応方針を話し合って支援に繋げている。		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	係りつけ医と連携を図り、職員間でもミーティングを行い、本人や家族の意向を確認しながら支援している。また、急変時にすぐに対応できるように、医療機関と連携を図っている。		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	移り住む際、生活習慣や精神面・身体面の状況・ケアプランの情報提供を行い、環境の変化に伴うダメージを最小限に食い止めるよう努めている。		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者のプライバシーを損ねないよう敬意を払い言葉使いに留意し、介助の際もさり気ない声掛けを気をつけている。個人情報も他者に伝わることはないように、努め個人的な話をする際は居室にて行っている。		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に判りやすい声掛けを行い、余暇活動など利用者の希望を、聞いて複数の選択肢の中から、利用者を選んでいただけるように努めている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人一人の気持ちを尊重し、それぞれの体調やペースに合わせて、柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	更衣の際は、本人に決めて頂き必要に応じた介助を行い、自己決定が困難な利用者には職員が複数の選択肢の中から一緒に選んで、その人らしい身だしなみが出来るように努めている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの能力を考慮し作業を分担し、職員はさり気なく介助を行い、一緒に準備や片付けをしている。職員も同じテーブルで食事をして、楽しく食事ができる雰囲気を作るよう努めている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者それぞれの嗜好を把握し、おやつなど利用者と一緒に買い物に行ったり、冷蔵庫も自由に使えるようにしている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、さり気なく声掛けを行い排泄の失敗を減らすよう努め、トイレの場所も分かりやすくして、混乱せず排泄できるよう支援している。		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者に、その日の希望を確認し、時間の希望なども柔軟に対応し好きなタイミングで入浴できるよう支援している。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の体調に、留意し日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう支援し、消灯時間を設けず夕食後より就寝までの間を穏やかに過ごせるよう雰囲気を作り、安心して休んでもらえるよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人1人の生活歴や出来る力を把握し、それぞれに合った家事や手工芸、軽作業を一緒にして張り合いのある生活ができるよう支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や家族の希望がある利用者には、お小遣い程度のお金を持って頂いている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望を聞き、その日の天候や体調を考慮しながら、散歩やドライブを行い外出できるよう支援しているが車の使用がサービスと共用なので利用者の希望にタイミングよく合わせる事が出来ない。	○	管理者と車の使用など検討していきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者から、希望を聞き福岡の歴史資料館の見学を予定していたが悪天候の為、中止となる。個別には家族の協力の下、お墓参りに行くなどの支援をしている。	○	他の日に振り返られるよう車の手配や、人員配置など管理者と検討していきたい。

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はフロアに1台設置しており、自由に使えるようになっている。また、居間より離れたスタッフルームに設置し会話内容が他利用者に聞こえないように配慮している。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問していただけるよう玄関を開放し、ご家族に声かけし、居間や居室で気兼ねなく過ごしていただける雰囲気作りに努めている。また必要時には利用者と訪問者の会話の仲介をさりげなく行うよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に1度、拘束について会議を行い、内容を全職員が閲覧できるようにしている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は開放しており、利用者の心理状態に注意を払い見守りを行い、外出しそうな利用者にはさりげなく声掛けを行い気分転換にレクリエーションや手工芸への参加を勧めたり、一緒に散歩に出掛け自由な暮らしを支援している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は職員間で声掛け合い、利用者の安全に配慮し居室ですごしている利用者にも、プライバシーに配慮しながら、さりげなく訪室し安全確認を行っている。夜間は2時間おきに巡回し、24時間利用者の安全に配慮している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者それぞれの管理能力に合わせて物品を管理して頂き、包丁やハサミなどを、使用した後は所定の場所に保管し、毎日チェックを行って危険防止に努めている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	月1度、ヒヤリ・はっと等の、報告書を元に会議を行い、内容を全職員が閲覧できるようにしている。		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時に、スムーズに対応できるようにマニュアルを作成し全職員が対応できるようにしている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月様々な災害を想定し、利用者と一緒に防災訓練を行い、避難方法や経路の確認を行っている。また、職員には災害受診監視盤や消火器の使い方を指導し、災害時には迅速・的確に対応できるようにしている。	○	自治会にも防災訓練に参加して頂けるように、お願いしていきたい
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者一人一人に起こり得るリスクを把握し、毎月リスクマネジメントについて、会議を行い対応策を検討し、見直しを行い、御家族にも説明を行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、利用者の普段の状態を把握しており、身体状態に異変を感じた場合は速やかに、リーダー・看護師・かかりつけ医に報告し、迅速に対応できるよう努めている。また、職員間でも情報を共有し対応にあたっている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者の服薬の内容をファイルにまとめ、全職員が確認できるようにしている。また、処方の変更がある場合は用法・容量・副作用について、申し送りを行い、状態の変化を記録しかかりつけ医に報告している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	予防の為に、水分補給や乳製品・繊維性食品を提供したり、運動を積極的に行いコントロールしている。また、慢性便秘の利用者には医師の指示を仰ぎ、最小限の緩下剤を使用し、排便困難の軽減に努めている。		

グループホーム サンテラス

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、利用者の能力に応じ見守りや介助を行っている。また、就寝前には義歯の洗浄を行い、清潔保持を行っている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は利用者の希望に対応している。また、身体状態に応じ、普通食・治療食・ソフト食を提供している。食事摂取量を記録している。水分は自由に摂る事が出来、10時・15時にお茶の時間を設けている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についての研修に参加し、伝達講習を行いマニュアルを作成し職員の意識レベルの向上に努めている。ワクチン接種も、利用者・職員ともに積極的に予防に努めている。また、同法人内で感染症発症の連絡を受けた際は、直ちに消毒物品を準備し感染防止に努めている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎夜、台所用品をハイターにて消毒を行い、利用者が洗った食器は、職員により再度洗浄を行い、乾燥機処理を行っている。食材の管理は管理栄養士より指導を得ている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花や置物を飾り、障害物をなくし、植物を置くなどして、明るく入りやすい雰囲気作りに努めている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間に、自然の光が入るように工夫し、季節の花や利用者が手工芸などで、作成した作品を飾り、利用者の好む音楽やリラックスできるような、音楽を流して心地よく過して頂ける雰囲気作りに努めている。		

グループホーム サンテラス

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、仲の良い利用者で雑談を交わしたり、1人でゆっくり過ぎて頂けるようなスペースを作っている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が愛用していた家具や使い慣れた寝具などを持ち込んで頂き、混乱する事なく過ぎて頂けるよう工夫している。また、居室に家族の写真を飾るなど、居心地よく過ぎて頂けるよう努めている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに換気を行い、利用者の状態を見ながら、温度計や湿度計を確認し空調を調節している。夜間も巡回時に、空調の確認を行い、快適に生活を送れるよう配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や浴室・トイレには、手すりを設置し安全に歩行できるように工夫している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者一人一人の能力を把握、職員間で話し合い混乱や失敗の原因となるものを、取り除き環境整備に努めている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	敷地内に畑を作り、季節に応じた野菜や花を育て、実った作物を収穫する楽しみを作っている。	○	畑が同法人の病院増設の為に廃止となり、代わりになるものを管理者と検討していきたい。

グループホーム サンテラス

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

グループホーム サンテラス

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
		<input type="radio"/>	たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)